

環境健康科学論分野

キーワード:

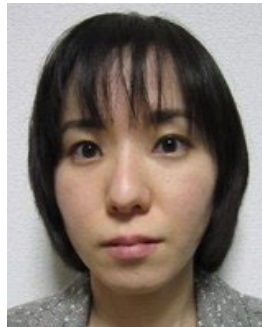
環境汚染物質、化学物質、健康影響、実験、動物、細胞、疫学、環境疫学、公衆衛生、大気汚染、気候変動、健康政策



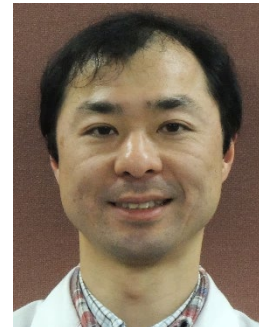
高野裕久
教授



上田佳代
准教授



本田晶子
助教



田中満崇
特定研究員

環境健康科学論分野

環境汚染、環境変化

実験的アプローチ

疫学的アプローチ



健康影響を総合的に評価

人と環境の相互関係を明らかにし

健やかな生命をまもる

実験的アプローチによる環境汚染の健康影響評価

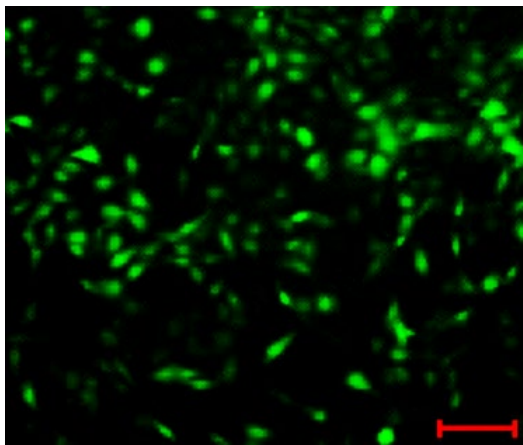
環境汚染物質が、健康、特に、呼吸器系や免疫系に及ぼす健康影響と、そのメカニズムを、培養細胞や動物を用いて実験的に評価・解析しています。

研究テーマ

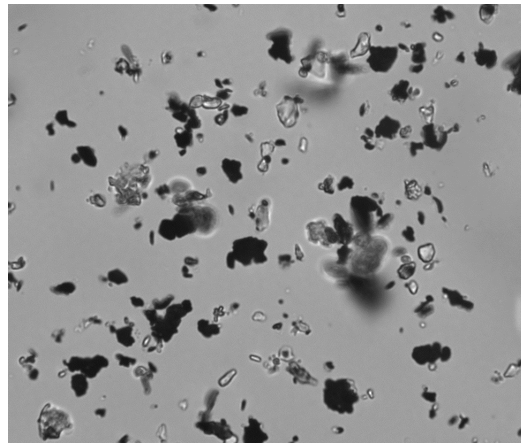
- 大気汚染物質の健康影響とそのメカニズム
- 大気汚染物質中の健康影響決定要因・成分
- 環境化学物質の健康影響とそのメカニズム
- 健康影響の環境医・工学的低減対策



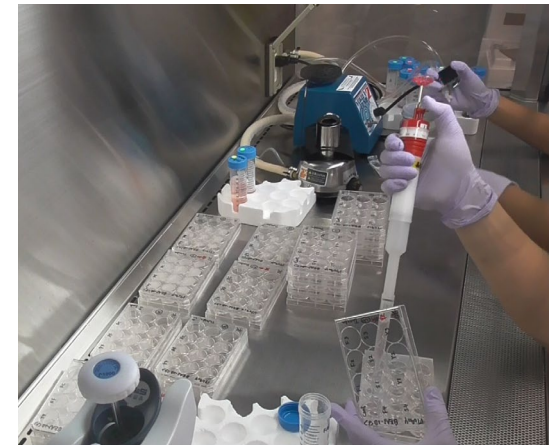
環境化学物質によって悪化したアトピー性皮膚炎症状



環境化学物質に曝露され酸化ストレスを受けた気道の細胞



大気中に存在する環境汚染物質（粒子状物質）



無菌操作実験の様子

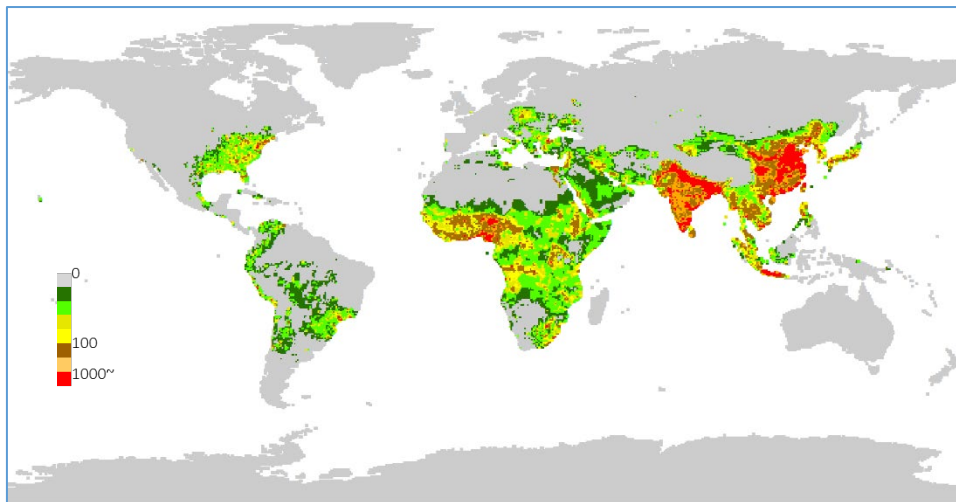
疫学的アプローチによる環境汚染の健康影響評価

人の健康に関する指標と環境汚染物質の曝露情報を用いて、環境因子が疾患の発生や症状に及ぼす影響について定量的に評価しています。

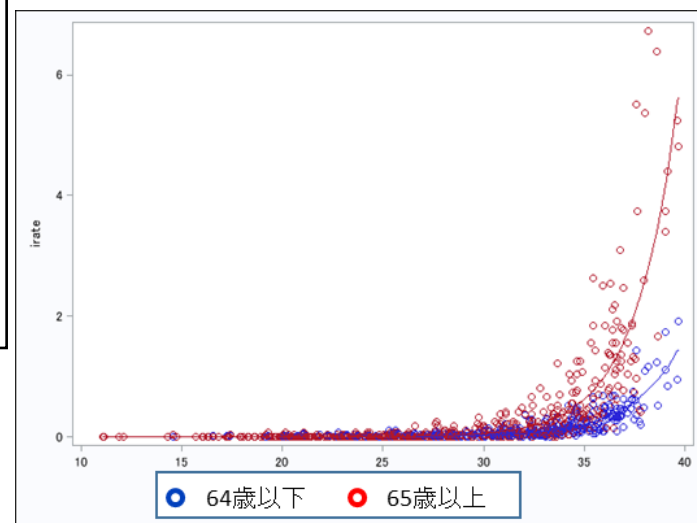
研究テーマ

- 大気汚染物質が人の健康に及ぼす影響
- 気候変動に伴う気象の変化と人の健康
- 大気環境の健康へのインパクト評価、将来予測
- 環境汚染物質の曝露評価モデル構築

PM2.5関連死亡数の分布

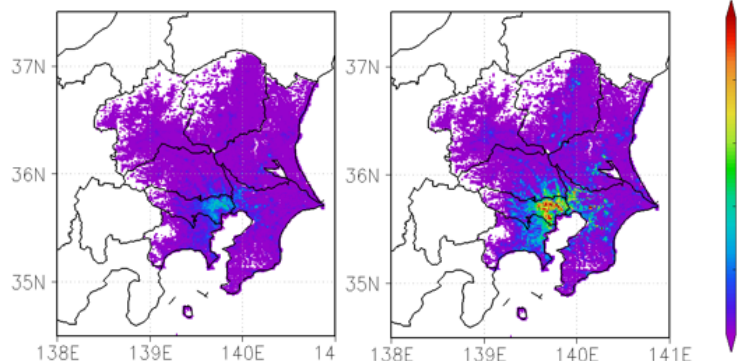


体感温度と熱中症による救急搬送との関連
(上図)と熱中症発生の分布予測(下図)



2000年代

2030年代



卒業後の進路

村田製作所、ベйкаレントコンサルティング、住友ゴム工業、キーエンス、三井住友海上火災保険、東洋新薬、竹中工務店、三機工業、ダイキン工業、パナソニックエコシステムズ、三菱電機、富士通、鹿児島県、福岡県、石川県、マヒドン大学など

所在地

桂キャンパスC1棟

京都大学大学院工学研究科
都市環境工学専攻に併任所属
しており、工学研究科所属
の大学院生とともに研究活動
を実施しています。



http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/campus/photo/list/katsura_c.html